

地域から「教育」を変える

地域教育推進ネットワーク東京都協議会

子供たちの教育と、地域や企業・NPO等との活動をつなげる取組み

「地域教育推進ネットワーク東京都協議会」は、子供たちの教育活動に、企業、NPO、大学等の専門的な教育力を効果的に導入するためのネットワークづくりを目指した組織として、東京都教育委員会が平成17年8月に設立しました。子供たちが多様な大人と出会い、新しい体験をする中で、社会性を育み、積極的に学ぶ意欲を持てるような教育環境の整備を目指して様々な活動に取り組んでいます。

『地域教育推進ネットワーク東京都協議会』は、企業やNPO、地域で様々な教育活動を展開している団体等と協働し、子供たちの教育活動を支援するプロジェクトを展開してきた、学校・家庭・地域が協働するしくみである『地域教育プラットフォーム』が都内各地域で定着し、子供たちの豊かな教育環境が整備されることを目指して事業を実施しています。

平成18年12月には教育基本法が改正され、「学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力」という条文が新設、これを受け平成20年6月には社会教育法が改正され、学校・家庭・地域を「つなげる」機能が社会教育にあることが明示されました。

また、平成20年度には文部科学省生涯学習政策局が地域住民等による

学校支援組織づくりを目指した「学校支援ボランティア推進協議会」（都事業名）（文部科学省事業名「学校支援地域本部事業」）を施策化し、地域の人々の教育参加の取組みを本格的に進めていくことが求められています。

平成20年度の地域教育推進ネットワーク東京都協議会は、「すべての都民の教育参加を進める」を活動目標に据え、以下の3つを活動の柱として事業を進めていきます。



NPOじぶん未来クラブによる「お仕事探検隊」



三菱自動車工業株式会社による体験授業

平成20年度

活動の **3** 本柱

1. すべての都民が地域における教育活動に参加するしくみをつくる
2. 地域における学校支援組織づくりを支援する
3. 企業のCSR活動と積極的連携を図る